

ファイナル風

(現場)からの

宮田守男

経済学で1杯目のビールのおいしさに比べ、2杯目・3杯目の満足度は下がる、に例えられる「限界効用」がある。「特別警報」

「クラスター発生」連日聞こえてくる情報に危機感が薄れて行く毎日だ。ちくま文庫の「絶滅寸前季語事典」の夏の季語に「コレラ船」がある。昔、船内でコレラ感染者が出て、船舶の沖止めが頻りにあったようだ。現在の島国日本のコロナ感染状況に、なぜか想いを重ねてしまう。

財政破綻を防ぐには、前例にこだわらない発想が必要だ

朝日俳壇選者でもある、俳人の長谷川権さん、日本人の時間意識を「緑に覆われた島々の上を、太陽と月の運行にともなうて春夏秋冬という季節が音

楽のように流れる」と表現した。慌ただしく過ごしてしまう日常の中でも、季節の巡りを感じ取ることができ、心のゆとりを持つ事が大切だと。コロナ禍での過ぎ行く日々の中でも、重要な節目に、

基金は取り崩し、枯渇して財政破綻に転落しないために、これまで地域住民を支援してきた各種事業の廃止や大幅縮小、主催イベントの原則休止や、公費負担ゼロなどの情報も。財源捻出のため、当初

学びがあった。「予算計上された金額は、あくまで予定額。執行の時に、改めて状況を考察し、決意を受けて、初めて予算を使う事ができる」「予算を残さない、この考えは財政規律を乱すだけだ」との教えだった。



郵便局で5日から販売再開したプレミアム付食卓券、苦境下の飲食店の力になってほしい

どの様な時間の持ち方が大切なのか、考えて行くべきなのだろう。新年度への予算編成で、深刻な財政難に陥った全国の自治体から悲鳴が聞こえてくる。これまで財源不足を補うため積み立てた

防ぐのは、地域住民から負託を受けている議員の監視が大切だ。過去の年度会計で、そのような事態に該当していないのか、問いたです事も大切だ。これか

馬村森上